

第16期 第5回男女共同参画センター運営委員会 会議要録

- 1 日時 令和元年7月12日(金) 午前10時～11時30分
- 2 場所 男女共同参画センターえーる 視聴覚室
- 3 出席者 田村委員長 大倉副委員長 佐藤副委員長 山崎副委員長 小幡委員 加藤委員(志)
片山委員 加藤委員(和) 上原委員 櫻井委員 中島委員 平林委員 堀野委員
事務局(人権・男女共同参画課長 同係職員)
男女共同参画センター指定管理者
- 欠席者 伊藤委員 高原委員 渡辺委員 佐々木委員 大橋委員 西村委員 居木委員
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者数 なし
- 6 議題 (1) 前回会議要録の確認とホームページ掲載について 【事前送付資料】
(2) 第4次練馬区男女共同参画計画の実施状況について 【資料1、資料2】
(3) 第5次練馬区男女共同参画計画の策定について 【資料3、資料4】
(4) 平成30年度モニタリングについて 【資料5】
(5) フェスティバルについて
(6) 次回日程について
- 7 その他 (1) その他

8 <事前送付資料>

第16期第4回男女共同参画センター運営委員会会議要録(案)

<配付資料>

資料1 第4次練馬区男女共同参画計画

資料2 第4次練馬区男女共同参画計画 目標別 重点取組の実績と評価一覧

資料3 第5次練馬区男女共同参画計画の策定について

資料4 「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言

資料5 モニタリングチェックシート(平成30年度)

参考資料 すてっぷNo.80、人権セミナーチラシ

9 会議の概要

【運営委員長挨拶】(省略)

【人権・男女共同参画課長挨拶】(省略)

【議題】

<委員長> まず、議題(1) 前回会議要録の確認とホームページ掲載について、この場で最終確認となる。事務局より事前に送付しており、特段指摘事項はなかったようだが、改めて訂正等、意見のある方はいるか(訂正なし)。それでは、決定とし、区ホームページに掲載する。(2) 第4次練馬区男女共同参画計画の実施状況について説明をお願いする。

<事務局> 第4次練馬区男女共同参画計画の実施状況について説明(説明省略)。

<委員長> 第4次練馬区男女共同参画計画の実施状況について何か質問等はあるか。

<委員> 男女共同参画の視点の目指す効果に青地で記載してあるアイウ等は、どこかの項目から選んで実施しているのか？

<事務局> 全ての事業を10の項目ア～コに分けている。その中でセンターに関わるものをここで紹介している。

<委員長> 女子会については、今年何かやるのか？

- <指定管理者> 会場を提供したり、会話をしたり、近隣の講座を紹介したり、なるべく繋がってこうという思いでやっている。一気ににはできないのでゆっくり進めている。
- <委員> この評価は、自己評価だと思うが、センターの自己評価ということか。
- <事務局> 人権・男女共同参画課の評価になる。
- <委員> 所管課の見解で、「女子会について今後も支援を検討していく」というのはセンターと所管課のどちらが進めていくのか。
- <事務局> センターの所管は、人権・男女共同参画課なので、事業は一緒に取り組んでいく。
- <委員> 所管課の見解ということでセンターとは別なのかと思っていた。
- <委員長> 区の計画を作るのは、所管課でその中にセンターの事業も組み込まれているので、所管課の見解となる。
- <委員長> 他に何かあるか(質問等なし)。続いて(3) 第5次練馬区男女共同参画計画の策定について事務局から説明をお願いします。
- <事務局> 第5次練馬区男女共同参画計画の策定について説明(説明省略)。
- <委員長> まだ、提言の段階だが、第5次練馬区男女共同参画計画の策定について何か質問等はあるか。
- <委員> 計画の位置づけの「第2次みどりの風吹くまちビジョン」個別計画とはどのようなものか。
- <事務局> 「第2次みどりの風吹くまちビジョン」は、それをもとにそれぞれの所管が計画を作成する。例えば高齢者や子育てに関する計画などがあるが、その1つとして男女共同参画に関しての計画がある。
- <委員> 「みどりの風吹く」はとてもいいタイトルだが、緑が多くて、自転車が通れなかったり、こどもが自転車に乗っていると顔に傷がつくような場所もある。どういう植樹をしていくか選定をしっかりとやって欲しい。何かの機会に伝えてもらえればと思う。
- <事務局> ビジョンを担当している課に伝える。
- <委員長> 他に何かあるか(質問等なし)。続いて(4) 平成30年度モニタリングについて事務局から説明をお願いします。
- <事務局> 平成30年度モニタリングについて説明(説明省略)。
- <委員長> 平成30年度モニタリングについて何か質問等はあるか(質問等なし)。続いて(5) フェスティバルについて事務局から説明をお願いします。
- <事務局> モニタリングの中で、フェスティバルのあり方についての意見をいくつかいただいている。フェスティバル実行委員会の反省会の中なかでも意見をいただいた。9月に実行委員を募集するが、昨年、一昨年は、第1回フェスティバル実行委員会で部会活動を決めるので、その希望を出してくださいという案内をしていた。本来は、第1回実行委員会で、こういう形で実行委員会を進めていきたいと思いますという総意で進めていくものではないかと思っている。この運営委員会の中で意見をいただきたい。本日のいただいた意見を、一旦区で整理させていただいて、皆さんに返して、フェスティバル実行委員会をどのように進めていくか次の運営委員会でまとめていきたい。皆さんが関わった中で感じた様々な意見を出してもらいたい。
- <委員長> この場でというのは難しいかもしれないが、感想等も含め今後のフェスティバルをどのように進めて行ったらいいか意見を出して欲しい。
- <委員> フェスそのものをはじめた目的は何だったのかという疑問があった。婦人会館の時代からこういう施設があって、活動していることを広く知らしめるためだと自分としては考えている。活動をしていく中で、何をやっていくのがベストかと試行錯誤する中で現在の部会活動の形になっていったのだろうとおもっているがその理解でいいか。
- <事務局> おっしゃる通りだ。そういう理解でやっている。男女共同参画は、固い部分があるが、生活の一部として、4次計画にもあるが「誰もが生き生きと暮らせる練馬」にしたいと

いう気持ちで、みんなで一緒に楽しんでいくことで男女共同参画に繋がっていくことも目的になるのではないかと思っている。団体の発表の場でもあるが、毎年、時季をとらえて講師を呼び発表をしており、ただの発表会ではない。センターのPRの場でもあり、区の施策にも繋がる場であると考えている。中身に関しても素晴らしいものだと考えている。

<委員長> 順番にみなさんの意見を伺いたい。(委員に促す)

<委員> 楽しかった。様々な発表があって、素晴らしい方たちが活躍していることを共有できた。LGBTの方もいるので、男女を強調しすぎるタイトルを掲げるのはどうかなと思う。男女共同参画の旗を降ろせとは言わないが、もう少し優しい形で多文化共生フェスティバル等というのものもあるのではないか。

先日、区内で息子を殺したお父さんがいた。今回は、意外と高齢男性が来場していた。高齢男性で困っている人へ何か提供出来る工夫はできないか。男女共同参画にしがみつかない素敵なタイトルがあるといい。

<委員> 先日もお話したが、学校の名簿が変われば、それに付随するものも柔らかくなると思う。大人になると男は自分が偉いと凝り固まってしまうので、小さい時から変えればいい。孫の通っている幼稚園のハロウィンで、毎年1人だけお姫様の恰好をする男児がいた。私は、親は偉いと思ったが、小学校になれば制服や名簿で苦勞するだろうと思った。

<委員> 混合名簿にするかどうかは、校長の裁量に任せられている。小さいうちからの教育とるのであれば、フェスティバルの中で子供向けの啓蒙をしてもいい。

今一番問題だと感じているのは、実行委員の組織の問題。募集の段階から所属する部会を希望して、部会ありきになっている。時間的な制約はあるとは思いますが、部会ありきできた何十年間を一回キャラにして、フェスティバルのあり方自体を変えたいと思っている。若い実行委員が来ても途中で抜けてしまう実態もある。活性化する知恵を絞りたい。部会に関しては、LGBTも含め共生社会ということで、外国人の視点も入ってくるといい。お楽しみもたくさんあっていいと思うが、どこかで啓蒙の部分があってしかるべきだと思う。

<委員> 男女の性は全然違う。その中間もいる。男だから女だからと考えず、みんなで一緒に何でもできるのが、いい社会だと思うが、男女共同参画センターの名称がある限り、それは外せない。

<委員長> 外さなくてもいいと思う。フェスティバル実行委員会に最初に参加して思ったのは、何をやるかを部会ごとに任されていて、全体でどういう風に進めて行くかの議論少ない。毎年コンセプトによって部会を組み替えて、動く形にしないと、部会のメンバーは何年も変わらず部会ごとに動くようになってしまう。そうではなくて、例えば、フェスのサブタイトルに「多様性について考えよう」とつけ、部会もそれに沿って作り、組織を動かしていった方がいい。組織もやり方も動かしていき、全体として何をやっていくか考えた方がいい。

<委員> 実行委員3年目になった。初めはわからなかったのが部会ありきでやっていたが、大きな方向性からカテゴリというか部会を作った方がいいと思う。運営委員会も含めて若い人が入ってこなくて寂しい。ここを変えていきたい。子育てがひと段落した40代、50代に入ってきて欲しい。そのためには何をしていけばいいのか考えると、今の部会がこのままでいいのかと感じた。来年は大きな方向を決めて、そのためにはどういう部会があるべきかを話し合う時間を設けた方がいい。

<委員> 今回が1年目で、女性の生き方部会に所属した。部会の中で話し合っていて、MeTooが話題になっていたのも、それに繋げて若い女性を助けている弁護士を呼んだ。うちの部会は大満足で終わった。全体としては色々な部会があって、皆さん頑張っているのだ

など感じた。来年は他の部会ものぞいて協力していけたらと思った。実行委員会でサブタイトルを決めたが、2年間同じだった。全体を通したものを1つ決めて作った方がいいと思うが、決めてしまうと手作りや発表をする人もいるので、急激に変えるのは難しいと思う。

<委員> 部会が決まってしまっている。新たな空気が入るといい。それには若い人を入れたい。サブタイトルが大きすぎるので、もう少し絞ってもいいと思うが、3階の発表、展示もあり、区全体の男女共同のことも考えるとあまり急ぎすぎてもよくない。ジェンダーの時代で男女共同参画を謳うのはどうかとの話も出たが、それは少し早いかなと思う。ここにいるメンバーは進んでいるとは思いますが、家庭に帰り、地域に帰ると男社会が強い。いきなりジェンダーといっても理解しない。高齢者だけでなく若い人も凝り固まっている人もいて急には変わらない。男女共同参画センターというネーミングはしばらく続けた方がいい。

<委員> フェスティバルには10年くらい参加していたが、運営委員には初めてなった。部会は、高齢者部会というネーミングが良かったので決めた。言われることは一生懸命やろうと決めてやった。会を重ねるうちにコミュニケーションが良くなり、来年はもっと良くなるのではないかと感じた。皆さんいい方だったので、来年も同じメンバーでできたら楽しいだろうなと思った。

<委員> ここに来るようになって、男女共同参画ということに対して、意識し始めた。練馬区にはこの施設しかないので、ここから発信していけたら良いと思っている。

<委員> 実行委員会の時に副委員長が反省会の時に「部会をガラガラポンしてもいい」といったことが印象的だった。私も3年ほど委員をやっているが、部会が硬直化しているというのも事実だと思う。難しいなと思っている。今回の様に話し合ったのは初めてなので、もう一度くらいは話し合った方がいいと思う。

<委員> 私が「ガラガラポン」といったのは、今の部会を全てなくすとかそういうことではなく、内容に即したものはそのまま残す。何を残すかは話し合いの中で決まってくると思う。目指すべきものがあり、それをどう体現していくかということだと思うので、そこにはめ込まれる形で部会を作っていく。手仕事や発表の場も大事にしていきたい。フェスティバルを動くものとして発信していけるように考えていければと思う。あれもダメ、これもダメではなく、あれもいい。これもいいという風にしていきたい。

<委員> コンセプト等をはじめに話し合うのはとてもいいことだと思うが、来年度の実行委員は、9月に募集するというので、10月から話し合うことになるので、時間が足りないのではないかと。実行委員会は、月に1回なので、2、3カ月かかるとなるとスケジュールも含めて全体を考え直さないといけないのではないかと。来年度から出来るのか疑問がある。

<委員> 方向性は決められればと思う。

<委員> シャッフルしていくのは、いいと思うが、食育部会は変えないで欲しい。食育に関わりたい。皆さんの意見を聞きながら、残すべきところは残してもらいたい。

<委員> 男女共同参画の方向に食育を合わせればいい。

<委員長> 計画の中には食育が入っていない。

<事務局> 食育については、健康づくり総合計画の中で位置づけている。孤食の割合がすごく増えている。保健相談所、健康推進課が学童クラブや児童館等でボランティアも含めて子供たちと一緒に一汁一菜の調理をするという活動している。区としての計画にないわけではないのでご理解いただきたい。

<委員> 例えば、来年はここだけは残して、ここは変えていく。次の年には、ここを変えてというスパンで考えてもいいのかなと思う。9月の募集は変わらないので、移行段階として考えるのもいいと思う。

- <委員長> こういう議論をしたのは初めて。とまどいもあると思う。事務局としては今後どう考えているのか。
- <事務局> 意見を区で整理をさせてもらい、運営委員に返したいと思っている。今後の段取りとしては、9月の実行委員募集は動かさないので、スケジュールは前年と同様に考えており、区と事務局で詰めたいなどと思っている。第1回目のフェスティバル実行委員会の予定は10月17日の午前中に予定している。その前に運営委員会を開催し、フェスティバルの方向性を確認の上、第1回実行委員会に臨みたい。10月の運営委員会でも意見いただいて方向性をまとめたい。

【その他】

- <委員長> それでは、次回の開催日程を決めたい。
 — 日程調整（省略） —
- <委員長> それでは、今回は 10月9日（水）午後2時から開催させていただく。
 続いて、指定管理者から報告をお願いします。
- <指定管理者> 昨年の4月頃から交流コーナーの小・中学生、高校生の利用が増え、利用者から使いにくくなった等の声が多く出ている。注意や張り紙はしているがなかなか改善しない。要綱もなく、対応をその都度考えている。利用カードの作成も含め、対応の方向性を変えていきたいと思っているので、ご承知いただきたい。
- <委員> 利用カードは、1階の事務所で書いてもらうのか。
- <指定管理者> それも一案として考えている。
- <委員> 増えた理由はあるのか。
- <指定管理者> 近くにファミリーマートができ、ソファも新しくなり、居心地が良くなったのだと思う。
- <委員> 勉強する人もいるのか。
- <指定管理者> 本来は、勉強するスペースではないが、そのあたりは厳しくしていない。また、時間に関しても本来2時間の利用時間だが、やめさせるようなことはしていない。
- <委員長> これから対応検討していくということでお願いします。
- <副委員長> （閉会の挨拶）